

学校評価アンケートについて

令和5年3月13日

丹波市立北小学校 校長 黒田 睦美

弥生の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。保護者の皆様には、平素より北小学校の教育活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

本年度は学校教育目標を「未来に向かって、一人ひとりが輝く北っ子の育成～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～」として取り組んできました。3学期に入り、本年度のアンケート結果や学校の実情を出し合い、来年度の改善策を検討しました。今後もよりよい学校づくりをめざして、教職員一丸となって取り組む所存です。

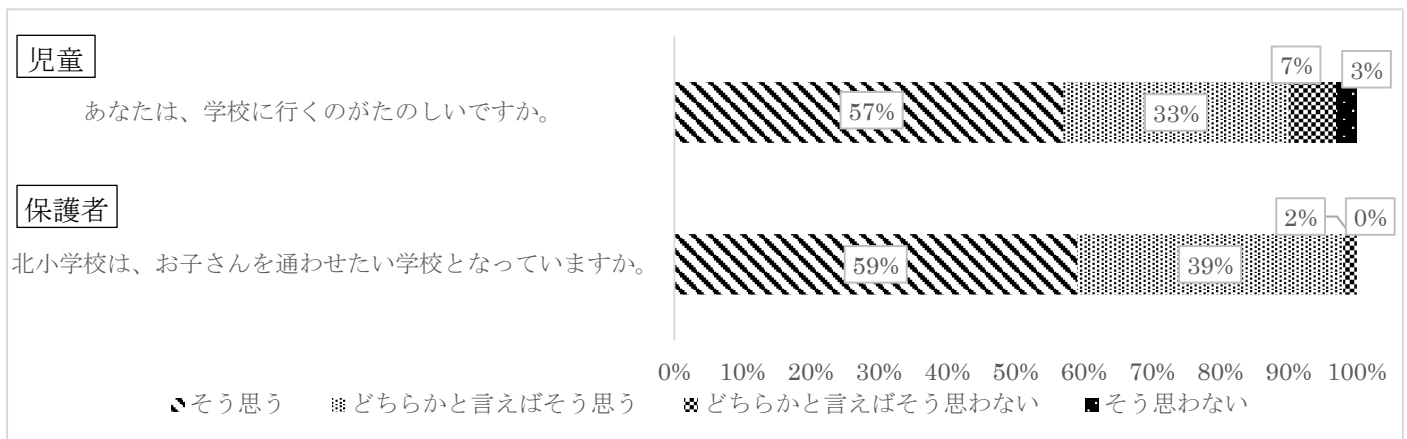
ここに、過日ご協力いただきましたアンケート結果を報告させていただきます。

そう思う

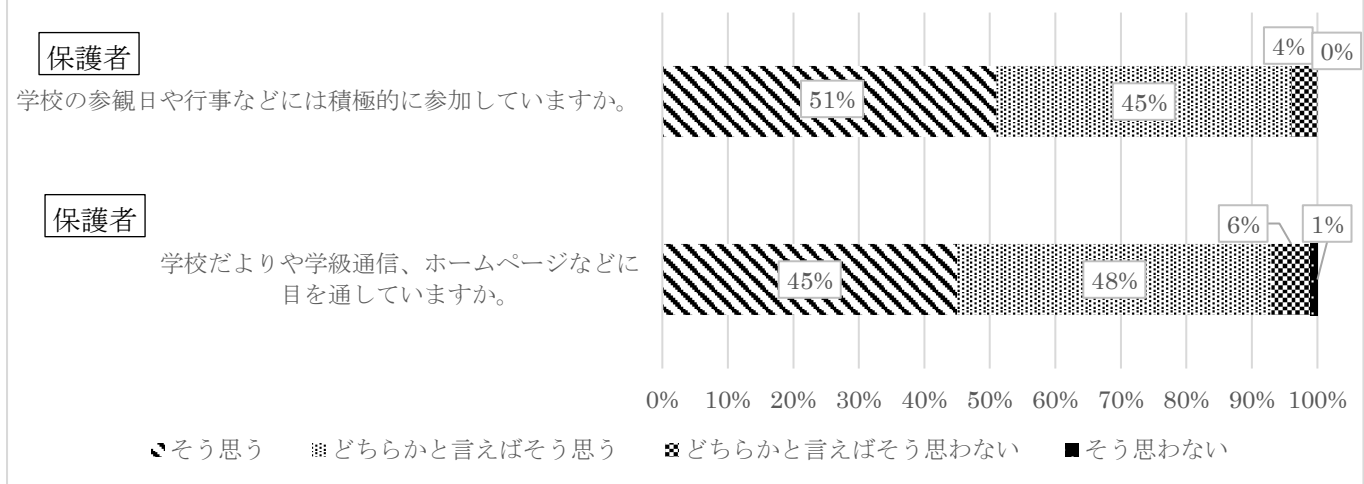
 どちらかと言えばそう思う

 どちらかと言えばそう思わない

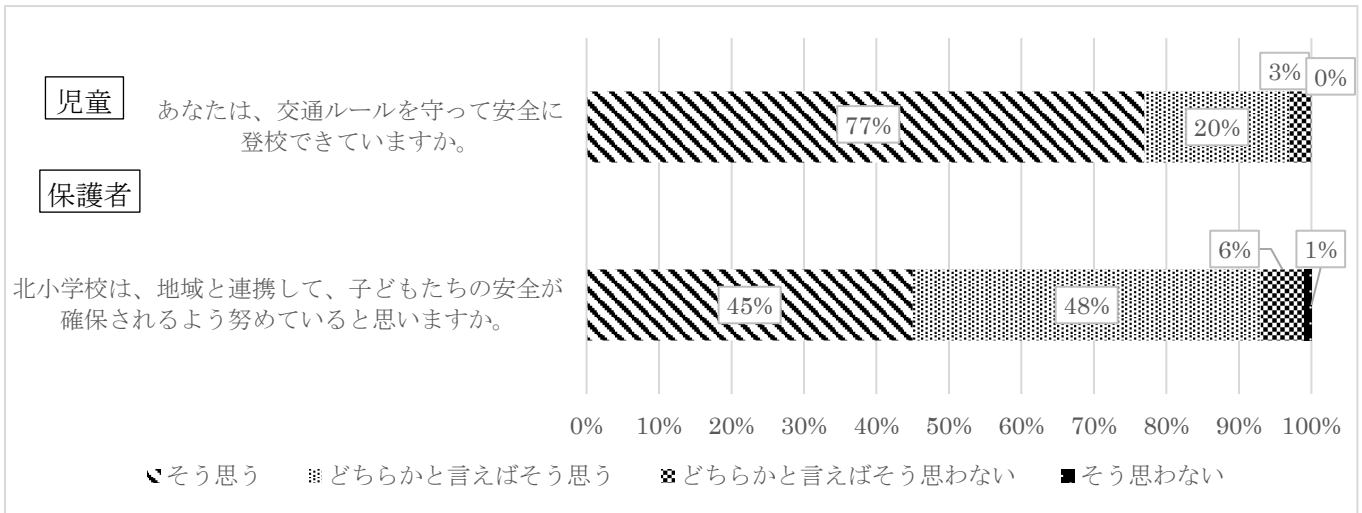
 そう思わない



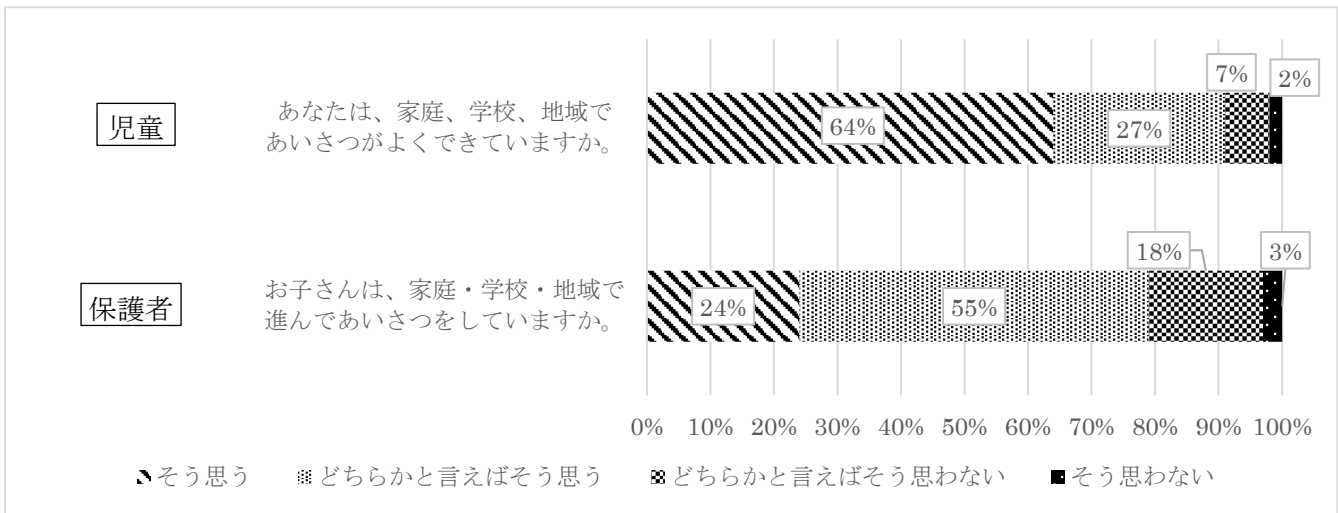
児童においては、9割の児童が学校へ行くのを楽しんでいると感じています。学級活動や委員会活動、児童会の企画、たてわり班活動などを通して、充実した学校生活を送っているようです。9割以上の保護者の方にも、高評価をいただきました。すべての子どもたちが楽しく学校へ通えるように、学習面と生活面両面から、丁寧な指導ときめ細やかな関わりを継続していきます。



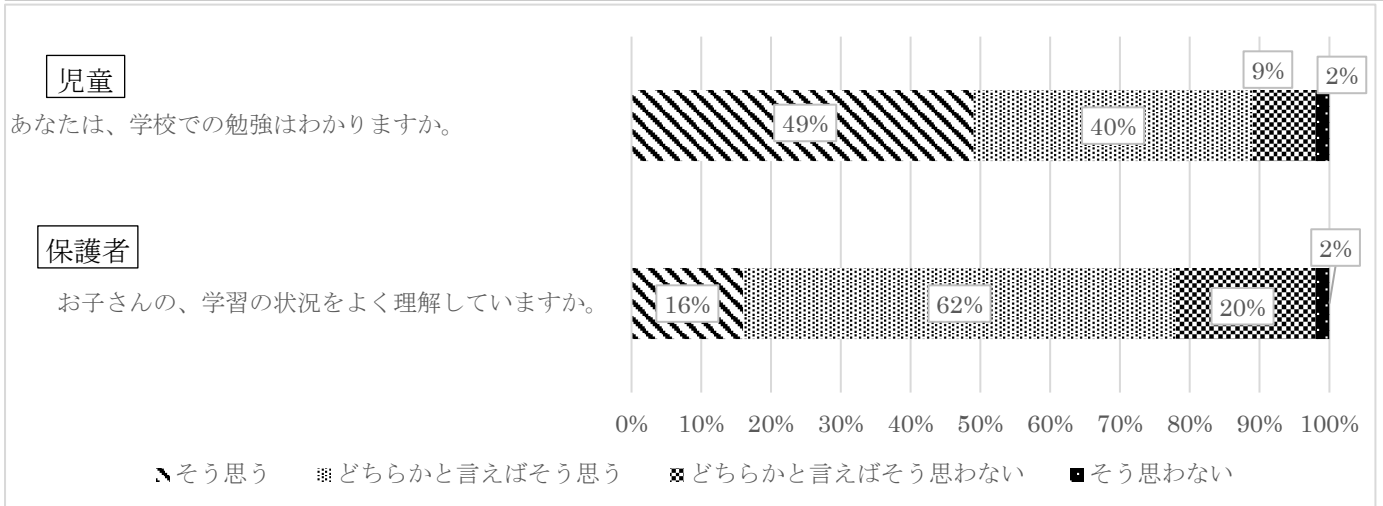
新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じつつ、学校行事を少しずつ従来の形に戻し開催しました。その中で、多くの保護者の方に参加していただき、子どもたちの頑張りを観ていただくことができました。また、9割以上の保護者の方が学級通信やHPなどを見てくださっています。今後も保護者の方が参加しやすい対策を講じ、通信やHPの発信等、開かれた学校運営を進めていきます。



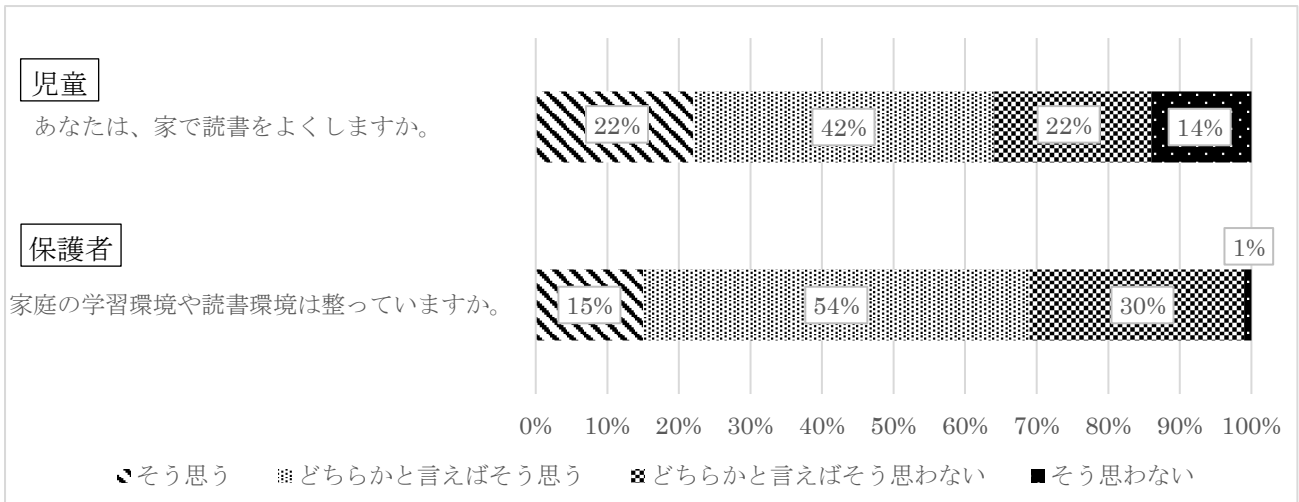
児童・保護者の方共に、9割以上が安全に登校できていると感じています。見守り隊の方々にも大変お世話になっています。今後も、安全指導や下校指導などで交通ルール遵守を全校生に啓発するとともに、地域と連携し、子どもたちの安全を見守っていきます。



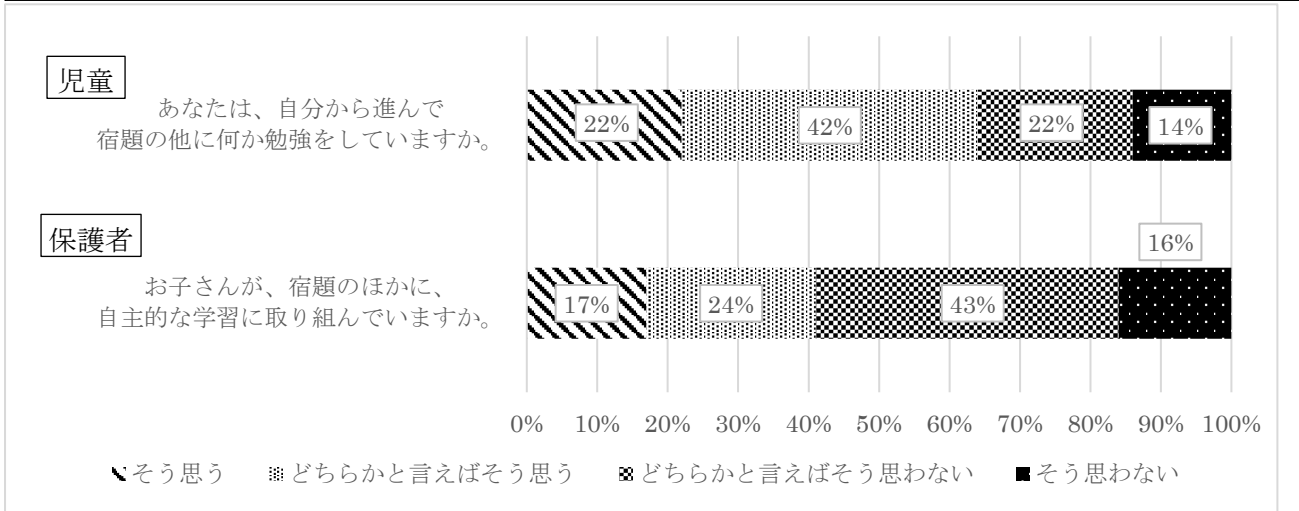
児童は9割以上、保護者は約8割が挨拶ができていると感じています。児童会の挨拶運動の取り組みや、登校時の声かけなど、学級や全校生への指導が成果へとつながっています。子どもたちが進んで挨拶できるよう、今後も取り組みを継続します。



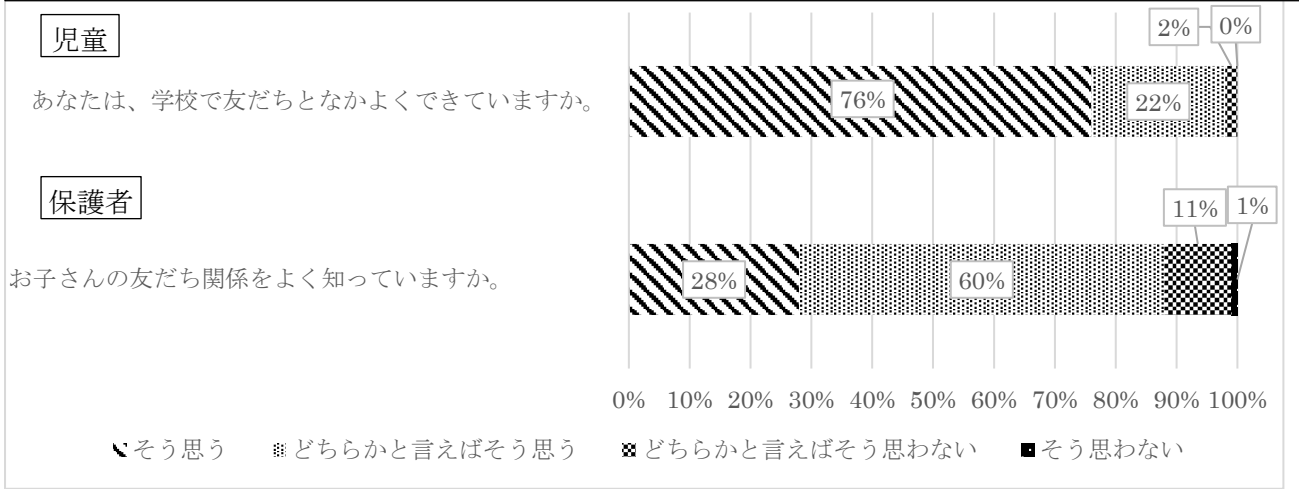
昨年同様、9割近い児童が分かると答えています。一方で、学習に対して困り感を抱えている子もいます。児童の学習意欲を高め、理解を深めるために、今後も、各学年・各教科で工夫した取り組みを継続していきます。



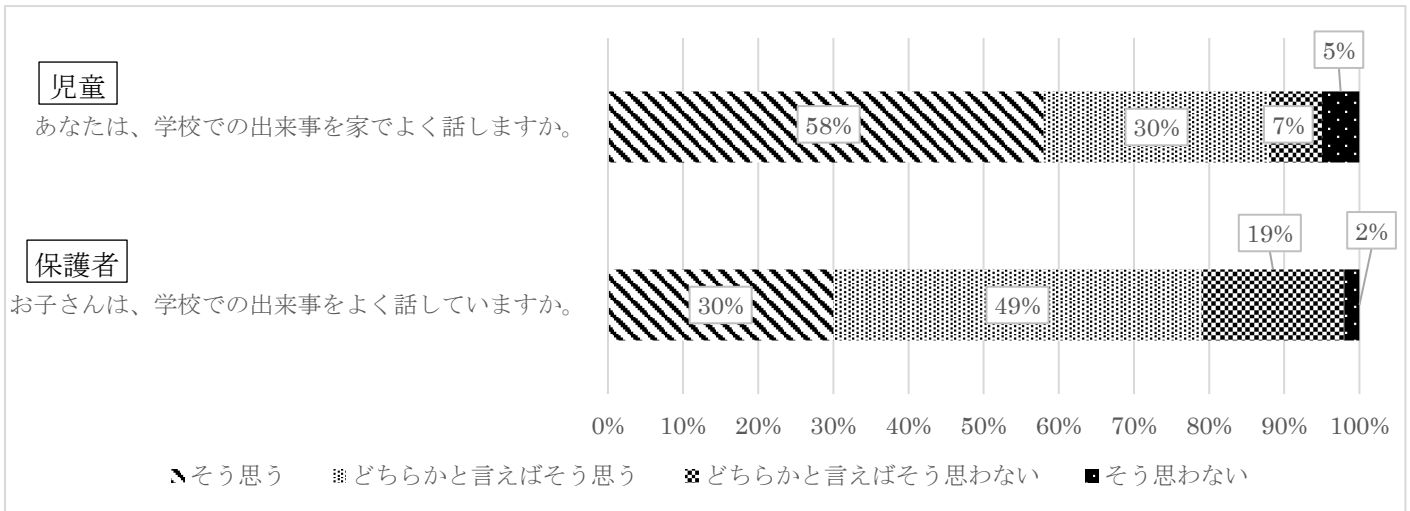
家庭読書の日・読書マイスター・地域の方や教師による読み聞かせ・学級図書充実など、子どもたちが読書に親しめるように取り組んでいます。学校でも家庭でも、本にふれあう時間がとれるよう、今後も取り組みを継続します。



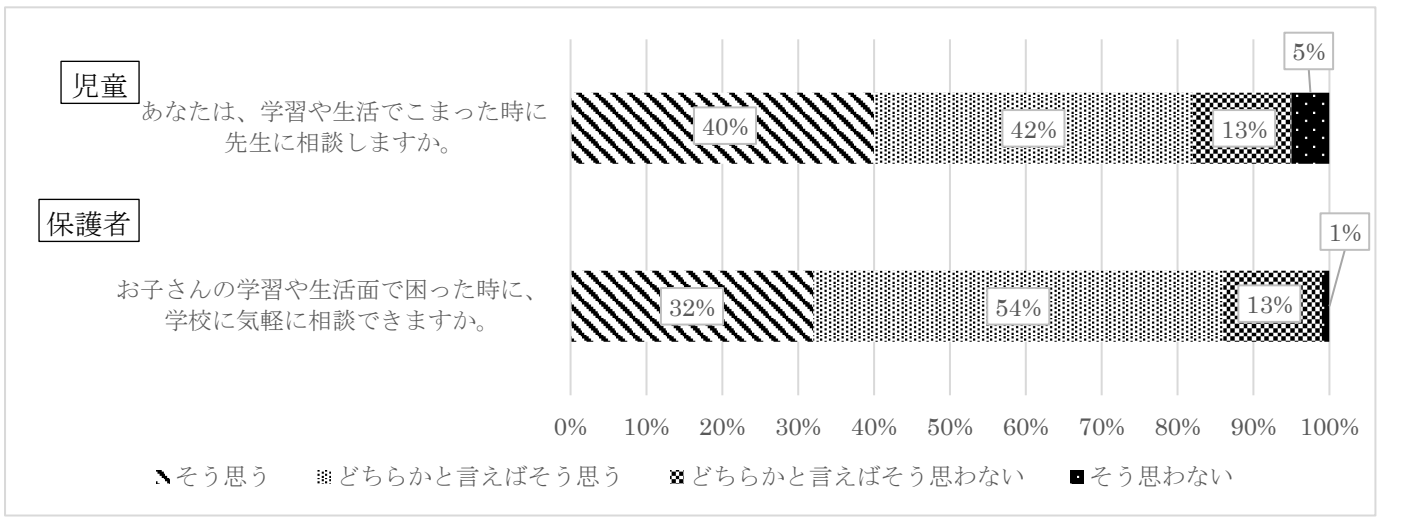
宿題以外の学習に積極的に取り組む意識が昨年より16ポイント上昇し6割を越えています。今年度も、自主学習ポイントカードを作成し、表彰等を行いました。基本的な指導を大切にしつつ、「家庭学習の手引き」や学級通信による具体的な指導を進め、意欲を高めていきます。おうちでの声かけも、引き続きよろしくお願い



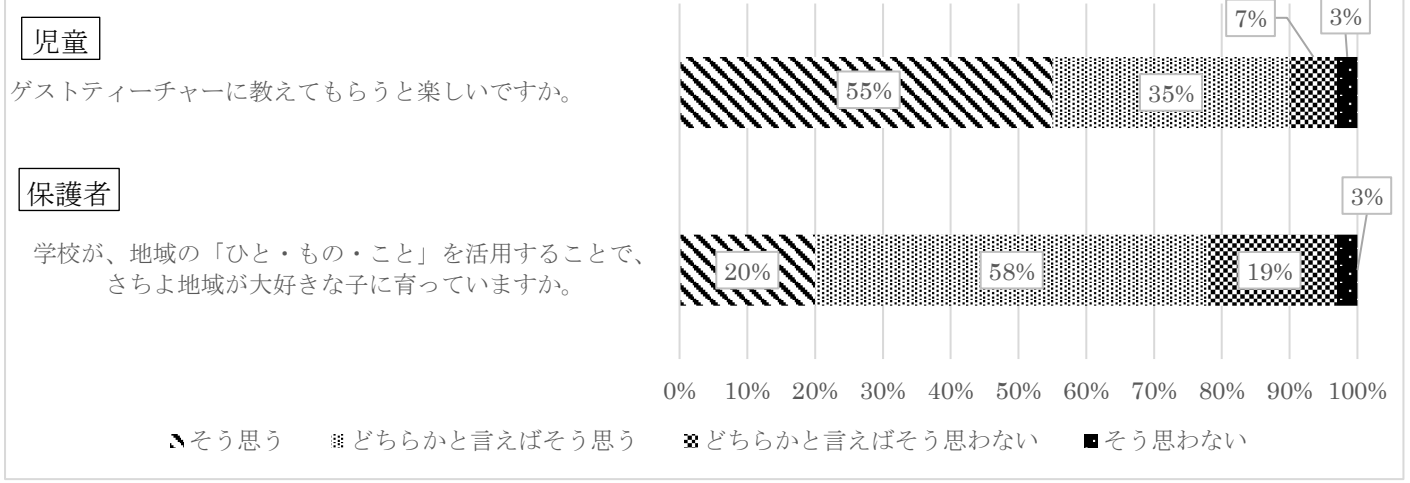
児童においては、9割以上が、仲良く過ごしていると感じています。保護者については、約9割が、子どもの友だち関係をよく知っておられるようです。今後も即対応を心掛け、全教職員が連携を密にし、各学級や学校全体で、友人関係で困っている児童やいじめを早期発見し、対応するとともに即対応を心がけ、未然防止へ向けた取組を継続します。



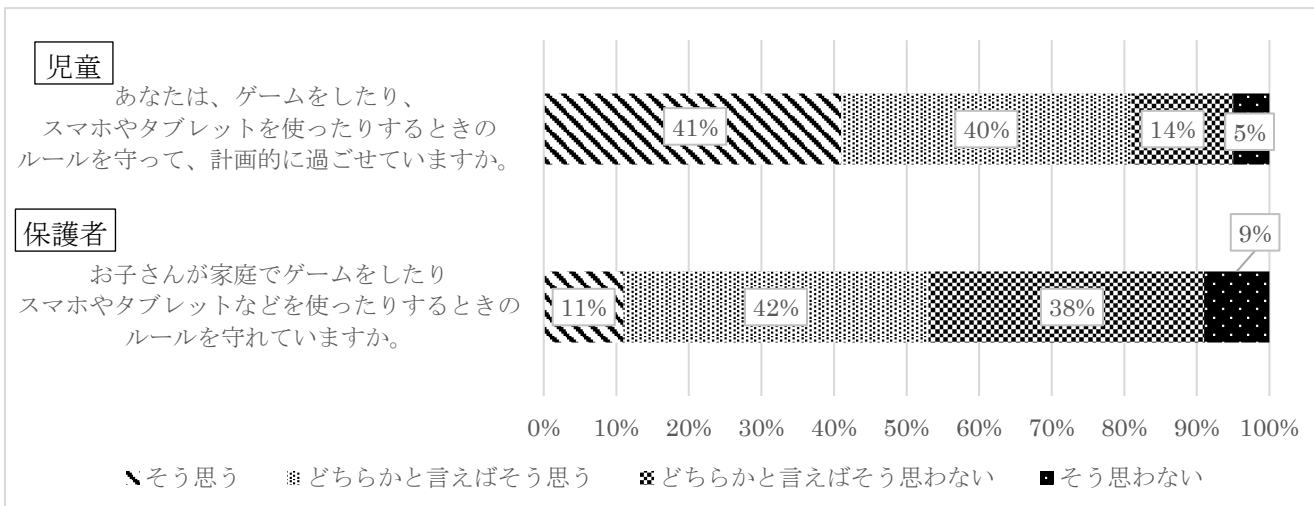
児童においては8割を超え、保護者においても8割近くの方が、家庭で学校での出来事をよく話していると感じています。学年が上がっても同様に、家庭で話をしている児童が多かったです。今後も、子どもたちが学校での出来事を話しやすい雰囲気づくりに努めていただきますようお願いいたします。



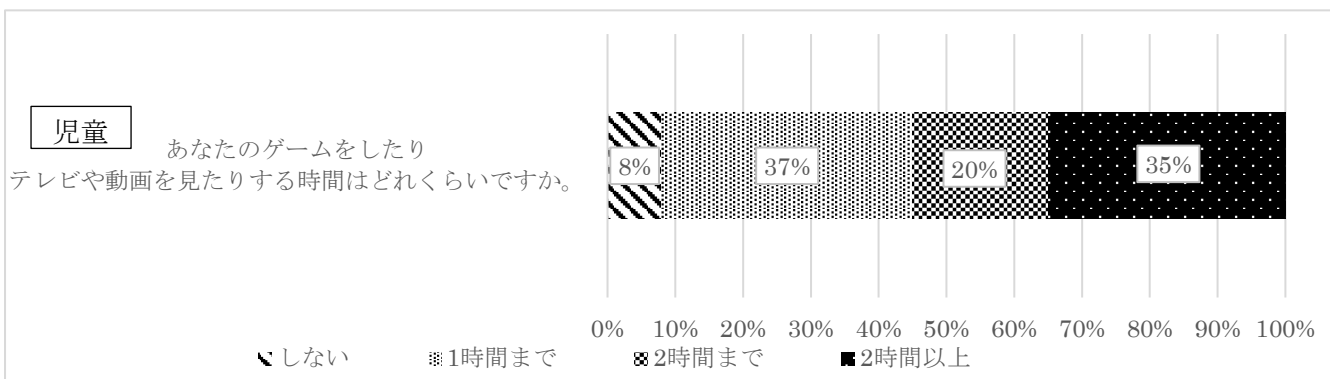
児童・保護者とも8割以上が先生または学校に相談している傾向にあります。今後も、児童の様子を多面的に捉え、保護者との連携を密にして、児童が困っている時に相談しやすい体制作りや、日頃からの声かけ・会話を大切にしていきます。また、相談できる人や機会が、個々の思いに応じて色々ともあることも伝えていきます。



感染症への対策を講じながら本年度もたくさんのゲストティーチャーの方にお世話になりました。児童においては、9割以上がゲストティーチャーとの学習を楽しんでいると感じています。今後も、学校運営協議会や地域の方と連携を深め、各学年の学習への参画にご協力いただきたいと思います。



児童においては、メディアの関りへの意識が向上してきています。本年度、児童を対象にメディアとの付き合い方について、講演を聴いたり、学習したり指導したりした成果と考えられます。この機会に家庭でのルールを見直していただき、引き続き、メディアと関わる時間が増えないようにご協力をお願いします。



2時間以上と答えている児童が35%でした。学校としても、ゲームや動画の時間が増え、生活に支障が出ることを心配しています。今後も学校では、学期ごとの「ぐんぐんカード」に取り組んだり、規則正しい生活やノーメディアのメリットを指導したりして、上手なメディアとの付き合い方を指導していきます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも配慮しながら教育活動を行ってきました。未だ不安定な情勢の中ですが、子どもたちは、楽しく充実した学校生活を送ることができています。しかし、3年にも渡る、コロナ禍の影響が子どもたちの中で、どのような形で表れるか分からない状況はあります。子どもたちが未来に向かって考え、動く力を高めるとともに、一人ひとりの子どもたちとしっかり向き合い、寄り添いながら指導・支援していく中で、一人ひとりが輝く北っ子の育成に努めてまいります。

保護者・地域の皆様にも、学校と連携し、学校の教育活動を支えていただきありがとうございました。温かいご協力・ご支援が、学校にとっても子どもたちにとっても大変心強いです。今後ともよろしく願いいたします。